

# 正規雇用保育士の増員で保育の充実を



あべ 千葉 議員(日本共産党)

**質問** 市立教育、保育施設再編計画では、水沢区の5施設が廃止となり、ほとんど私立施設に委ねることになる。保護者に公立と私立を選択する権利を残すべきではないか。

**市長** 市立と私立の幼児の保育と教育に差はなく、市で充分に支援していく。

**質問** 保育士不足で、年度途中の新規の乳児入所を断っている。休日保育の継続や待機乳児を無くすためには、年度当初に余裕ある保育士の配置や定員適正化計画を見直し正規雇用で保育士を増やすべきではないか。

**市長** 子どもの数は減少傾向にあり、保育士の定員数は維持している。間合っている。

## 牛の生産性向上策を

**質問** 市内の牛の飼養頭数は減少傾向にある。頭数を増やすためには、放牧の活用とキャトルセンターの利用もある。夏放牧後JA岩手ふるさと冬の冬期預託が限界になっていることから、キャトルセンター新設などの対策を講ずるべきでは。

**市長** 冬期預託施設について、金ケ崎町側の哺乳施設と合わせて、増設を検討している。

**質問** 生産性向上11年1産のための対応策は。

**市長** 県機関や農業団体等と「胆江地域畜産クライスター協議会」を組織し、発情発見や分娩監視の新技术普及に努めている。

## 個人番号未記入の対応は

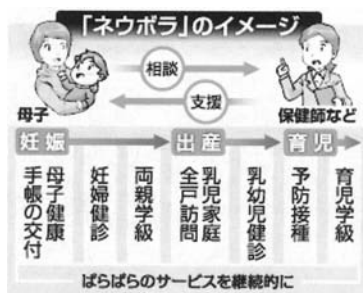
**質問** 市税申告時や特別徴収に個人番号(マイナンバー)の記入が求められるが、記入しない際の市の対応は。

**市長** 個人番号は記入しなくても、書類は受理するし、不利益はない。



JA江刺キャトルセンター

# 子育て世代包括支援センターの設置を



子育て世代包括支援センターのイメージ

## B型肝炎予防の拡大を

**質問** B型肝炎ワクチンの定期接種化が今年10月から始まった。世界保健機関(WHO)が92年に定期接種化導入を強く推奨してから遅れること約25年となる。日本では百人に一人が感染している。免疫系が弱い特に三歳までの小児がB型肝炎ウイルスに感染すると高確立で持続性感染者(キャリア)となり、一生肝がんの脅威にさらされる。定期接種の対象に漏れた子どもへの公費助成を行うべきと考える。

**市長** 有効性の高い予防接種であり、10月から定期接種化がスタートをしたばかりである。現在の接種率は約69%である。定期接種に漏れたお子様に対して、公平性、助成の在り方を近隣の自治体や市の状況をみて検討する。

**質問** 妊娠から出産、産後の子育て支援を一貫して切れ目なく継続して支援

## 産前産後ケアの充実を

**質問** 産前産後ケア事業の取組みについてショートケア(二時宿泊)、デイサービス(短期滞在)、訪問支援などニーズに添える事業が必要だが。

**市長** 当市では行っていないが、支援である。水沢病院の助産師等と協議をしながら支援の在り方について考えていく。

**質問** 妊婦が受診、陣痛時利用できるタクシーの助成についての考えは。

**市長** 事業者との協議も必要なことから、検討を進める。



あべ 加代子 議員(公明党)